(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2014-18197
(P2014-18197A)
(43)公開日　平成26年2月3日(2014.2.3)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
A23L 1/20	(2006.01)	A23L 1/20	104F	4B020

審査請求 未請求　請求項の数 2　書面　（全 4 頁）

(21)出願番号　特願2012-171478 (P2012-171478)
(22)出願日　平成24年7月13日 (2012.7.13)

(71)出願人　512201111
ＳＡＹ　ＷＯＲＬＤ有限会社
宮崎県宮崎市佐土原町下田島１９４４２－１３
(72)発明者　矢野　陽子
宮崎県宮崎市佐土原町下田島１９４４２－１３

Ｆターム(参考)　4B020 LB02　LR03

(54)【発明の名称】風物型に入りたれ溜まりと溝が付いた豆腐カップ入り豆腐製品。

(57)【要約】
【課題】豆腐は、真四角、楕円形、ビニール袋入りのものが市販されており、四角に切って汁ものや煮物炒め物として形状を壊さして食材に利用されている。ひややっことして食するときなど四角か丸の味気ない形状である。また豆腐をひややっことして醤油をかけて食べようとすると醤油が下にすべりおちて豆腐の水と混じり醤油が薄くなる。これらを解消するための風物型入り醤油たれ溜まりと溝入り豆腐カップ入り豆腐製品。
【解決手段】豆腐の形状をこれまでの丸状や四角状以外の花やパンダやキャラクターといった動植物や風景富士山や地方の名物などの形状にしたカップに入れて、その形状のカップの内側に、豆腐を器に戻した時に醤油やたれが豆腐の表面に残るように筋や溜まりができてそこに醤油やたれがたまる凹凸をいれた。豆腐の形状に合った色や素材や味を区別に入れることができる風物型入り醤油たれ溜まりと溝入り豆腐カップ入り豆腐製品にした。

【特許請求の範囲】
【請求項１】
豆腐を花やキャラクターや動物や風景富士山などの形状にした型カップに豆腐を流しいれて固めて市販する豆腐カップの内側に豆腐にから出して醤油やタレが豆腐の表面に溜まり残るように豆腐カップの内側に凹凸の突起で溝や溜まりができる豆腐カップに豆腐を流し込みフィルムで密封した風物型入りたれ溜まりと溝入り豆腐カップ入り豆腐製品。
【請求項２】
豆腐に色や味や素材を変えた豆腐を流し込んだり、豆腐の形状に合った色や素材や味を区別に入れことができる風物型入り醤油たれ溜まりと溝入り豆腐カップ入り豆腐製品。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
豆腐を花やキャラクターや動植物や風景富士山などの形の枠に入れて花やキャラクターや動物や風景富士山などの形が残り、豆腐の表面に凹凸にした部分に醤油や色素入り調味タレが溜まる窪みや線を形成する風物型に入りたれ溜まりと溝が付き豆腐を流しいれてシールドして固めた風物型に入りたれ溜まりと溝が付いた豆腐カップ入り豆腐製品。
【背景技術】
【０００２】
豆腐は健康食としても常時食卓にあがる日本食に欠かせないものであるが、これまで豆腐は、真四角、楕円形、ビニール袋入りのものが市販されており、四角に切って汁ものに入れたり煮物炒め物にいれて壊されたり、豆乳として液体や粉々にして食材に利用されている。ひややっこととして食するときなど味気ない形状である。これらの豆腐をひややっこととして醤油をかけて食べようとすると醤油が下にすべりおちて豆腐の水と混じり醤油が薄くなる。醤油を大量に使ってしまい無駄が生じる。大量の醤油などをかけると健康的にもよくない。たれが豆腐にうまく絡まらない。
【先行技術文献】
【０００３】
【特許文献】
【特許文献】出願番号：実用新案出願２００６－４９５２、登録実用新案第３１２７２６３号、ひと口充填とうふ
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
豆腐は健康食としても常時食卓にあがる日本食に欠かせないものであるが、これまで豆腐は、真四角、楕円形、ビニール袋入りの形状がほとんどである。豆腐は、四角に切って汁もの煮物炒め物にいれて壊されたり豆乳として液体や粉々にして食材に利用されている。出願番号：実用新案出願２００６－４９５２、登録実用新案第３１２７２６３号、ひと口充填とうふがあるが、これは一口サイズの小さい豆腐で、豆腐を目で見て楽しみタレをからませることができない上に本発明とは豆腐活用の目的が異なる。そこで、これまで約４センチから９センチ四方で厚さが４センチから１０センチの間の豆腐の形状を花図▲１▼やキャラクターや動物や風景富士山図▲６▼や幾何学的形状図▲７▼にして、ひややっこや汁ものに沈ませたりして一人分に適した豆腐の量を一つで見て味わう食品にしたものでこれからの豆腐製品を更に広がりのある楽しい食材とすることができる。季節や風物の形状の豆腐は料亭等の風流な一品として付け加えることができる。その形状の豆腐に、醤油やたれが表面に残るように筋や溜まりをいれることで醤油やたれが勝手に皿の下に流れださず、タレの量も無駄にせず豆腐とたれの絡みもよくなるので食しやすくなる。豆腐の凹凸の凹の部分にタレが溜まり花図１の▲６▼やキャラクターや動物や風景富士山などを線や溜まりで明確に表現できキャラクターやパンダやひまわりといった動植物のタレ線が子供にも楽しめる。またタレ上部の溜まりを少し割いてタレを流すと上から線に沿って下に流れ出す仕組みも図１の▲７▼食するときに楽しくおもしろいものになる。溜まりのタレ

が食する寸前に溜まったタレを引き裂くとタレと豆腐が絡み合い豆腐を美味しく食すことができる。松竹梅や菊や蓮や富士山や地方の名物を形にした風物の形状をしたと豆腐は和食料亭等の一品として大人にも楽しめる。日本の食卓に欠かせない健康的な豆腐を美しく楽しい食品としてその活用を広げることができる風物型入りたれ溜まりと溝入り豆腐カップ入り豆腐製品。

【課題を解決するための手段】

【０００５】

豆腐を動植物図▲１▼やキャラクターや風景などの形状になるカップ枠図▲２▼に流し込み、醤油などのタレが豆腐の表面に残るようにカップの底▲５▼や側面▲８▼にカップ枠内図▲５▼に豆腐を動植物やキャラクターや風景などの形状に適した線や溜まりのできる凹凸図▲５▼をいれて、豆腐を流し込むとフィルムでシールド図▲２▼して豆腐を固めた風物型入りたれ溜まりと溝入り豆腐カップ入り豆腐製品。

【発明の効果】

【０００６】

豆腐は常時食卓にあがる日本の食材であり、健康食でもある。豆腐の形状をこれまでの丸状や四角状以外の花やパンダやキャラクターといった動植物や風景富士山や地方の名物などの形にする事により目で見て味わう食品として効果的であり、楽しい風流な一品になる。家庭の食卓や料亭やレストラン等の一品として付け加えることができる。キャラクターや動植物の枠を利用すると子供が喜んで健康的な豆腐を食することができる。その形状の豆腐に、醤油やたれが表面に残るように筋や溜まりをいれることで醤油やたれが皿の下に流れださず、同時に食す事ができて便利であり、真空にした風物型入り醤油たれ溝入り豆腐カップ入り豆腐製品がスーパーに並ぶと家庭でも料亭でも便利である。また、学校や施設での一品として楽しく食すことができる。形状により色素や素材を変えて加える事で豆腐の新商品としても拡大する。これまでの四角の豆腐の販売拡大につながる風物型入りたれ溜まりと溝入り豆腐カップ入り豆腐製品。

【図面の簡単な説明】

【０００７】

【図１】風物型入りたれ溝入り豆腐カップ入り豆腐製品の一例で、全体の形状と、豆腐カップの形状。側面にタレが残る富士型のとうふ。棚式にタレが残る豆腐型。

【発明を実施するための形態】

【０００８】

【実施例】

【０００９】

植物型、梅型、桜型、松竹梅型　ひまわり型、もみじ型、蓮型、菊型、冠婚葬祭型、動物型、魚型、熊型、鳥型、ライオン型、キャラクター型、風景型、富士山、桜島、ツリー型、車型、円錐の形状の上部に溜まりを作り、そこにたれを入れ堰を切ると、上部に繋がる溝にそってたれが流れる幾何学的な形状にした型。

【産業上の利用可能性】

【００１０】

豆腐は健康食としても常時食卓にあがる日本食に欠かせないものであるが、これまで豆腐は、真四角、楕円形、ビニール袋入りの形状がほとんどで冷ややっこ食する時などは味気ないものである。豆腐の形状を花やキャラクターや動植物や風景富士山などの形にすることで子供にはプリン感覚で楽しく食し、大人は風流に冷ややっこをおかずの一品として食することができ、料亭では四季を感じさせる一品に取り入れる事ができる。学校や高齢者施設等でも豆腐を楽しんで食すことができる。豆腐の形状は個人ではなかなか自由につくることができなかったが、風物型豆腐にたれ溝入りのある豆腐がスーパー等で販売されているとたいへん助かる。豆腐業者にとってこの風物型豆腐にたれ溜まりと溝入りのある豆腐カップに入った製品を販売することでこれまでの四角の豆腐に加えての販売が拡大する。風物型豆腐にたれ溝入りのある豆腐に色素や素材を変えたタレを加える事で豆腐の新商品としての市場の拡大も期待できる風物型入りたれ溜まりと溝入り豆腐カップ入り豆腐製

品。

【符号の説明】

【００１１】

▲１▼は風物型入りたれ溜まりと溝入り豆腐カップ入り豆腐を更に移した状態。▲２▼は風物型入りたれ溜まりと溝入り豆腐カップ入り豆腐製品の横面。▲３▼豆腐カップの上面にシールドした面。▲４▼と▲５▼は梅の蕊の部分に凸を入れて豆腐の蕊の部分にタレが溜まるようにした豆腐カップの底面。▲６▼は豆腐が凹になったところにタレが溜まる部分。▲７▼は豆腐の上部にタレが溜まる部分。▲８▼は上部の溜まったタレの淵を切るとタレが回転して下へ流れる幾何学的形状

【受託番号】

【００１２】

【図１】

